

数学（数学Ⅲ）学習指導案				指導者	三島 康信
学 級	3年 1組	教室	134 教室	日 時	令和5年6月14日(水) 2時限
単 元	第4章 極限		教科書	改訂版 新編 数学Ⅲ（数研出版）	
指導 目 標	1 様々な関数の極限を求めるための考え方について理解させる。 2 関数の連続性及びある区間における実数解の存在を示させる。		指導 計 画	1 関数の極限(1) 3時間 (本時はその1時間目)	
				2 関数の極限(2) 2時間 3 三角関数と極限 2時間 4 関数の連続性 3時間	
本 時 の 指 導 過 程	主題	第2節 関数の極限			
	目標	1 関数の x を限りなく a に近づけたときの極限を求めさせる。 2 不定形を解消するように工夫して変形させる。			
	課題	課題プリントを解いておく。			
	学習内容		時間	指導上の留意点	資料・評価の規準等
	導 入	1 課題プリントを確認する。 2 本時の目標を確認する。	10	・数列の極限について確認させる。 ・主体的に学習に取り組むように促す。	・タブレット ・プロジェクタ
	展 開	1 極限值について理解する。 2 極限值の計算をする。 [1] 例6の説明を聞く。 [2] 練習17を解く。 [3] 例7、例題7の説明を聞く。 [4] 練習18を解く。	10 25	・関数の極限值について理解させる。 ・グラフを用いて視覚的に理解させる。 ・数列の極限の性質と同様であることを確認させる。 ・極限を求めるために不定形を解消するなど、関数の式を適切に変形させる。 ・机間指導をし、適切なアドバイスをする。	・学習プリント 【評価規準】 ・極限に対する考え方を身に付けている。 〈知識・理解〉 【評価方法】 ・発表及び学習態度 【評価規準】 ・本時で学んだ内容を用いて、演習に主体的に臨もうとしている。 〈関心・意欲・態度〉 【評価方法】 ・解答へのプロセス及び教師による行動観察
整 理	本時の学習内容をまとめる。	5	・本時の学習内容を確認させる。		
備 考	学科（普通科）類型・コース（理数） 生徒数 6名				